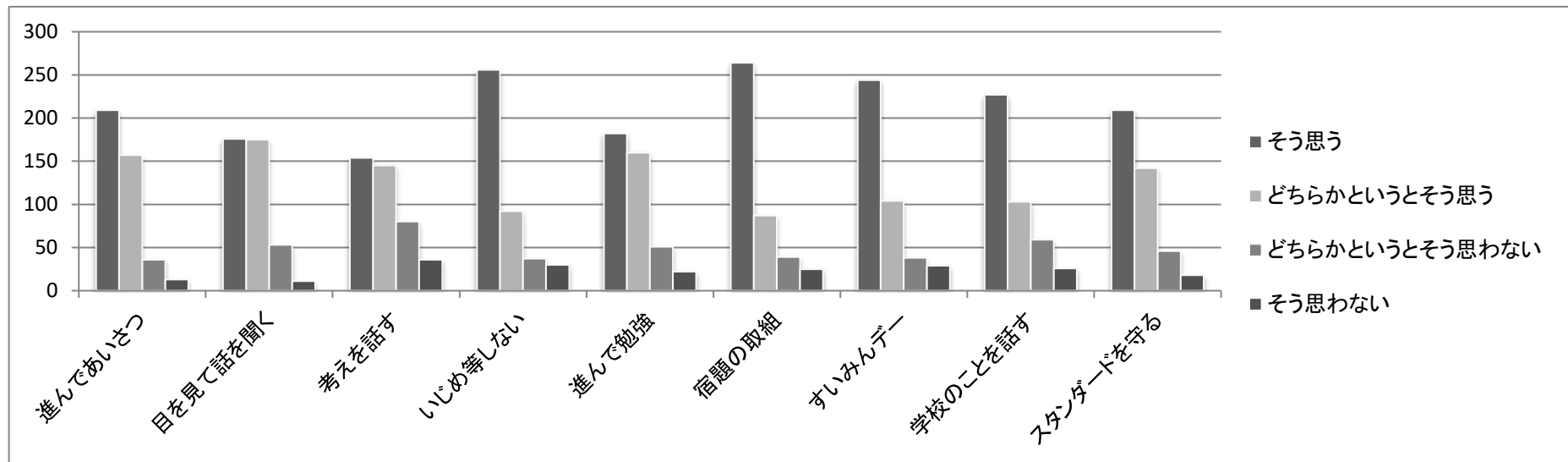


令和2年度【児童】生活・学習ふり返りアンケート集計結果

令和2年12月実施(415名)

	質問①	質問②	質問③	質問④	質問⑤	質問⑥	質問⑦	質問⑧	質問⑨
	進んであいさつ	目を見て話を聞く	考えを話す	いじめ等しない	進んで勉強	宿題の取組	すいみんデー	学校のことを話す	スタンダードを守る
そう思う	209	176	154	256	182	264	244	227	209
どちらかというと思う	157	175	145	92	160	87	104	103	142
どちらかというと思わない	36	53	80	37	51	39	38	59	46
そう思わない	13	11	36	30	22	25	29	26	18



【児童の傾向】

○「グッスリすいみんデー」の日に早く寝ることに対し、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答している児童が83%（昨年度比+4%）になった。5年生が94%、1、2、3、6年生では、80%台（4年生は69%）の達成率になっている。

「グッスリすいみんデー」の取組が家庭の協力も得ながら、定着してきていると考えられる。

○「目を見て話を聞く（協働型学校評価の重点目標）（84%）」、「いじめをしない（83%）」、「宿題の取組（84%）」、「進んで勉強する（82%）」は、「そう思う」、「どちらかというと思う」と回答している児童が、昨年度と同程度（±3%以内）」となっている。

○一方、「進んで挨拶（86%）」、「考えを話す（72%）」の2項目は、昨年度から-6%となっている。特に、「自分の考えを話す（協働型学校評価の重点目標）」では、昨年度同様28%の児童が「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」と回答している。3年生が-10%、2年生が-14%となっている。声を出したり、発表したりする機会が減ってしまっている状況の中で、減少が見られているのは当然のことと考えられる。「学校のことを話す（79%）」も昨年度から-4%となっている。学校で十分に話せない分、保護者の協力を得て、家庭で自分の考えを話す時間を取ってもらえるようにしたい。

